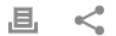


若者気候訴訟の提訴を受けて 神戸石炭訴訟 原告・弁護団声明を発表

【声明】 明日を生きるための若者気候訴訟（若者気候訴訟）の提訴を受けての共同声明（2024/08/06）

By 事務局 Posted 2024年8月6日 In 声明



明日を生きるための若者気候訴訟（若者気候訴訟）の提訴を受けての共同声明

本日、全国の若者たち16名が、株式会社JERAなど火力発電所を擁する発電事業者10社を被告として、CO2排出差止めを求める訴訟（以下若者気候訴訟という）を提起した。

若者気候訴訟の被告には、株式会社神戸製鋼所（以下「神戸製鋼所」という。）も含まれていることから、神戸製鋼石炭火力訴訟原告団・弁護団（以下単に原告団・弁護団という）として、私達の危機感が広く若い世代に引き継がれ、進みゆく気候崩壊がこれからの世代に対して特に深刻な人権侵害になっていくという認識が、より広く社会に浸透することを願って、本声明を発出するものである。

若者気候訴訟の第1の意義は、少子高齢化社会にあって、これからの日本社会の中核になっていく若い世代が、深刻な人権侵害を受ける当事者として集団で声を上げた点にある。

神戸訴訟では、幼児から高齢者まで幅広い世代が原告に加わり、各世代特有の被害の顕在化に焦点を充てている。若者気候訴訟では、あえて若い世代のみが原告となることで、CO2の大量排出による受益者と被害者の間に不公正な世代間格差があることを明らかにしている。

<https://kobeclimatecase.jp/blog/2024/08/06/statement20240806/>

株主総会 会場前アクション

株式会社 神戸製鋼所グループに関する

2024年 事業リスク・レポート

環境団体独立レビュー
2024年6月



毎年発行している
株主向け事業リスク・レポート

神戸製鋼所の定時株主総会が19日、神戸市中央区で開かれ、4月に就任した勝川四志彦社長が初めて議長を務めた。株主からは、収益の柱となる一方で二酸化炭素（CO₂）排出が課題となっている石炭火力発電事業への質問が相次いだ。

神鋼は昨年2月に神戸発電所4号機が稼働を始め、24年3月期連結決算で初めて通期の業績に1〜4号機全ての収益が反映された。原料となる石炭価格の低下などもあり、電力事業は経常利益の半分を占めた。一方、中期経営計画では、

神鋼株主総会 CO₂削減を強調

火力発電に質問相次ぐ



株主総会2024
報告記事

脱炭素関連の質問数
過去最多
6人(14人中)

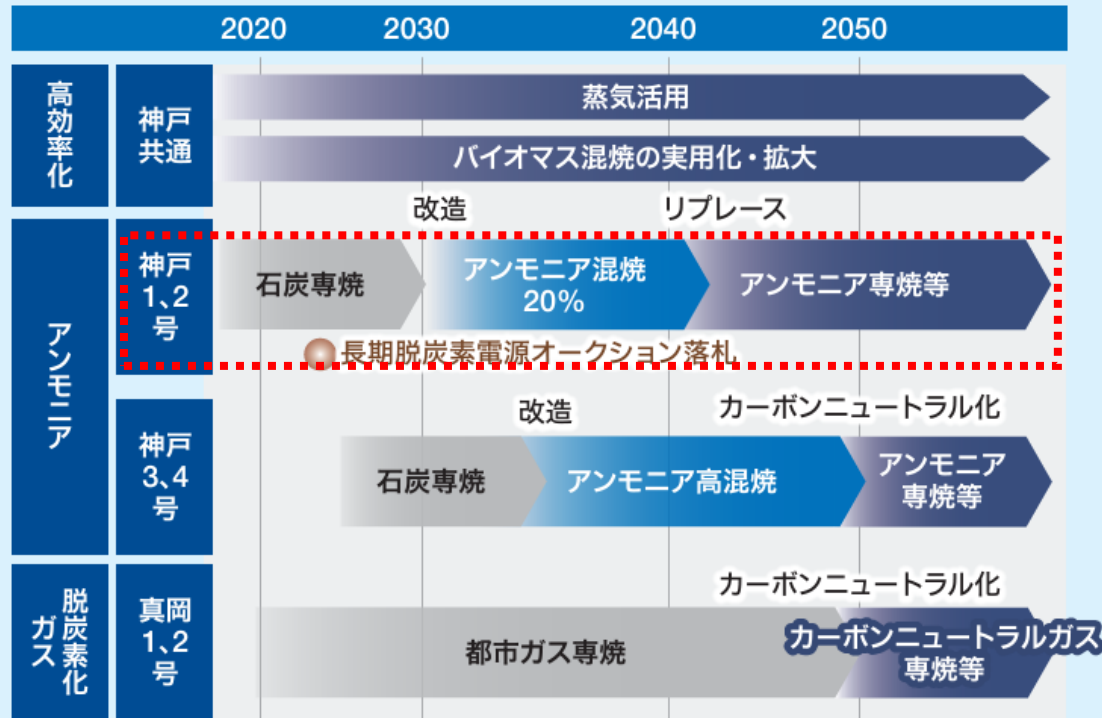
2024/6/20神戸新聞

アンモニア混焼 長期脱炭素電源落札

カーボンニュートラルに向けたロードマップ

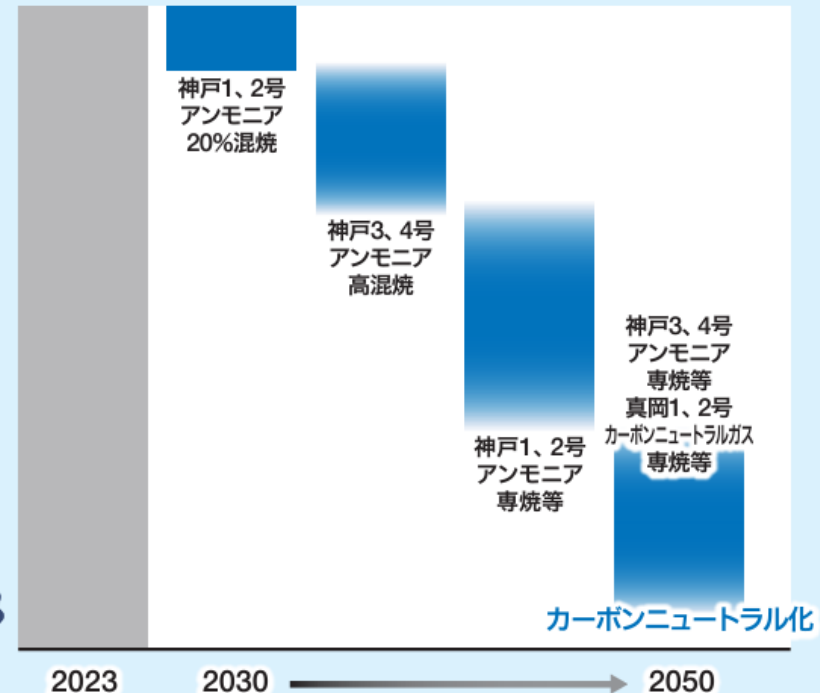
効率43%

カーボンニュートラルに挑戦



ロードマップに沿ったカーボンニュートラル化イメージ

★2023年度の稼働条件と同等とした場合



活動記録写真展、学習会の開催



7年間の活動記録を紹介する写真展を開催(2024年8月)
9月中旬、10月にも神戸市内で開催予定

(学習会) 市民の力で変えるエネルギー
石炭火力発電とアンモニア混焼の課題
第1回 世界のエネルギー動向と気候変動

2024年
8月24 (土)
14:00 - 16:00

気候変動と環境問題がどのようにエネルギー社会を築くことができるのか、この学習会では、この問題と、脱炭素火

学習会の開催8/24 講師:明日香先生
参加:約80人

民事訴訟へのご支援をお願いします

10/23 専門家の証人尋問を予定



神戸石炭訴訟
Kobe Climate Case



2024年10月23日（水）14：00～

神戸製鋼所、関西電力等に対して脱石炭を求める裁判

控訴審 第3回期日・期日報告会